

# 有題 無題

## 会社は社会の「公器」

年頭に当たり、公益資本主義とは何か、その実現がいかに大切なのかを述べたい。

私が、行き過ぎた資本主義に警鐘を鳴らし、公益資本主義を提唱してから16年が経過した。今や公益資本主義は、短期志向の是正につながる制度改革や経営の現場への浸透といった成果を出している。欧米も株主資本主義が金の卵を産む健全な企業を殺してしまうことにやっとなつてきた。2018年度には広義の公益資本主義へと潮流は変わった。一方、日本は数年前の英米に追随する形で株主資本主義の下、過剰な株主還元が一層進む事態となっており、危機感を募らせている。「公益」とは、私たち

## 内閣府参与 原丈人



および子孫の経済的・精神的な豊かさであり、「会社」とは社会の公器であり、事業を通じて社会に貢献するものだ。公益資本主義は社員・顧客・仕入れ先・地域社会・地球といったすべての社中に貢献することにより企業価値を上げ、その結果として株主にも利益をもたらす…。これが本来あるべき資本主義と考えている。

公益資本主義に重要な経営理念は三つ。①社中分配の公平性②中長期視点に基づいた会社の持続性③企業家精神による事業創造と事業の改良改善性である。米英ではCEOと株主に利益が集中しすぎた。これを是正し社中への公正な分配が進めば中間層の厚みが増すほか、内部留保を確保した上で企業家精神が発揮され、中長期成長につながる新しい事業に挑戦できる。

## 日本発の公益資本主義を

もちろん、事業経営に失敗すれば社員の解雇や減給はありうる。その際、まずは経営者自らの報酬を大幅に減額すべきで、自らの報酬を上げることは不当な行為である。昔、最先端ビジネスとされた奴隷貿易が近代には違法となったのと同様に、将来の基準では違法行為になる。アメリカン航空や日産自動車の事例はまさにこれである。

「制度づくり」では、8月末にライアンス・ワールド・グローバル会議、10月には「2019ライアンス・フォーラム東京円卓会議」を開催する。公益資本主義の理念を共有し、具体的な施策を実行に移し、さらに政策提言することで企業、政府一体となつて、日本発の公益資本主義を広げ、世界の常識にしたい。

27歳から創業し、2018年までフルタイムで勤務。現在は、株式会社ライアンス・フォーラムの代表取締役社長を務める。また、ライアンス・フォーラムの設立に深く関わっており、現在は、ライアンス・フォーラムの設立に深く関わっており、現在は、ライアンス・フォーラムの設立に深く関わっている。